

豊かな人間性を身に付け、 何事にも主体的に取り組む児童生徒の育成を目指す

ねがい

〈 目的 〉

平成 25 年 4 月、校区内の 2 小学校が統合し、大川中学校敷地内に新小学校が開校します。今後、小中の連携した教育活動が日常的に行われることが考えられるため、9 年間を見通した児童生徒の育成を目指すカリキュラムや学校行事等の検討・精選・改善・新設等を行うことを目的としました。

〈 内容 〉

つながり

● 小中連携を推進するための組織づくり

平成 23 年度より、学校運営、学習指導、生徒指導、人権・同和教育、学校図書館教育、事務の 6 部会で、9 年間を見通した児童生徒の育成のための研修会を行っています。

- 生徒指導部会：服装・身だしなみ等のルール 校内・校外の生活について
通学路の点検
- 学習指導部会：学習規律の整合性 各教科・各学年の学習内容の確認
- 人権・同和教育部会：学習内容の系統性(発達段階に応じた人権・同和教育)

● 中学校教員による 小学校における 外国語活動の交流授業の実践

中学校へのスムーズな入学(中 1 ギャップの解消)、英語学習への抵抗を減らすことを目的に、中学校教員の専門性を生かし、小学校で交流授業を行いました。この実践を通して、中学校教員の小学校における交流活動や児童理解も深まりました。児童の学習についても興味関心・意欲の向上や、中学校生活への不安の軽減に役立っています。

また、他の教員においても、小中相互に授業参観を積極的に行っており、児童生徒理解に努めています。



【中学校教員による外国語活動の様子】

● 学校間や地域の連携を図った 小中合同のボランティア清掃

これまでも小中それぞれで様々な人と活動しながら触れあうことを通して、思いやりやいたわりの心を養ったり、交流を深めたりしてきました。本年度は、中学校 1 年生と小学校 4 年生、6 年生が校区内の「河川清掃」「海岸清掃」等のボランティア清掃を行いました。



【海岸清掃をしている様子】

〈 成果 〉

6 部会での研修に参加したり、小中学校間での相互の授業参観等を行ったりすることで、小中の教育活動を具体的に理解することができました。例えば、人権・同和教育部会では 9 年間を見通した年間計画を見直すことで、小中間、小小間の連携の必要性や内容の系統性を検討し、児童生徒の発達段階における学習活動の確認をすることができました。この取組で教職員の交流が深まり、人権感覚を高めていくことに役立ちました。

また、異校種の児童生徒との活動を意図的に企画し、実践することで、特に、中学生は、学校行事に積極的に取り組むリーダー性を発揮しようとする生徒が増えてきました。

高まり